



平成19年 4月15日

2面	3面	4面	5面	6面	7面	8面
平成18年度公民館総括	上大島文化芸能祭	みんなで仲良く	埋蔵文化財	スポーツ・情報	ひと・すぼっと・	視点を声・ペンペン草
					こどもの詩・短歌・俳句	



まつかわ百景 ① 「七福神社春季祭典 おかめ踊り」

小学校6年生になった女兒が新井の各所を回り獅子の前で優雅に舞う。

昨年度の松川町公民館活動を振り返り、私の感じたことを述べます。

1年間、乳幼児から高齢者まで、充実した活動をされている多くの町民の皆さんと接することが出来、感動の日々でありました。

700名を超える皆さんが参加されている文化協会。その活動の集大成となった町文化祭へ出展された見事な作品の数々。また各地域が一体となつて行われた文化祭・芸術祭。「人の和のある地域協働のまち まつかわ」にふさわしい内容でした。

21の競技で組織されている体育協会や、19のクラブで活動している少年少女スポーツクラブ。松川中学校駅伝部の県大会優勝は学校関係者の指導力の賜物であろうが、こうした体協関係者の地道な指導が開花したものでしょう。これは陸上だけでなく全ての運動競技に言えることです。

また、文化・体育両協会関係者だけでなく、各種団体のそれぞれのお立場での真摯な取組みに對しまして、『松川ってすごいなあ。』の一心でありました。

主張

18年度の活動を振り返って

公民館の本館としましては各地区館との連携を密にして、諸事業を推進してまいりました。社会部編集部体育部それぞれの事業に對しましてご協力ありがとうございました。2月4日、第44回公民館研究会では、「子どもを育む、地域活動を考える」という

テーマのもと家庭・地域・学校との連携という視点で話し合いがなされました。数年前、この研究会を契機として始まったあいさつ運動は各地区館の皆さんや賛同して下さる皆さんのお陰で、各地区で広がりを見せていることを嬉しく思います。

本館各部の部員はじめ地区館の関係の皆さん、それぞれの立場での創意工夫された事業ありがたく感じました。これからの松川町をリードしていくであろう頼もしい若者が大勢います。

先輩の皆さんが作り上げてこられた松川町の公民館活動が、更に充実したものになるよう努力しなければと決意を新たにしているところです。

松川町公民館長

松村直彦

平成18年度

公民館総括

多くの皆さんに

支えられた1年間

社会部長 奥田 茂

私たち社会部では、昨年同様
に年間の活動テーマを「住
みよい環境づくり〜あいさつ
から始まる地域づくり〜」と
据えてこの1年間を取り組ん
できました。

「街頭あいさつ運動」は、
地区公民館の方々にもご協力
いただき盛り上げていただき
ました。今後この運動が松
川町全体に広がることを目標
に、継続して活動していき
たいと思います。

文化面への取組みは、事業
の内容や運営方法等について、
今まで以上により良いものに



盛り上がった音楽祭

なるよう検討し実施しました。
人形劇場・映画会共に例年
より多くの皆さんに参加して
いただき、喜んでいただくこ
とができました。

18年度は、松川町が町制を
施行して50周年の記念の年
であったことから、音楽祭を町
制施行50周年記念事業と位置
づけ、プロの演奏者を迎えて
開催しました。出演団体も9
団体と今までになく多く、出
演者・入場者合わせると、約
500名という音楽祭始まって以
来の人数となり、立ち見が出
るなど今まで以上に盛り上が
ることができました。

今後も諸事業の取組の中で、
一人でも多くの方にご参加い
ただけるよう企画・運営して
いきたいと思えます。

社会部の活動にご理解ご協
力いただき、各事業には多く
の皆さんがご参加いただいた
ことを御礼申し上げます。

活気のある活動

体育部長 橋場 龍司

本年度の活動を振り返って



秋晴れのもと 走りぬく

みまずと、体育部主催事業は
子どもから大人まで年齢にと
らわれず一緒に楽しめるよう
進めてまいりました。トラン
ポリン教室、ファミリー登山、
駅伝大会、ニュースポーツフェ
スティバルと例年行なってい
るものですが、どれも楽し
みにしていただける参加者が多
い事業で、昨年の反省をふま
えて、充実したものになるよ
う内容を検討しながら実施し
ました。

参加者の様子を見ています
と、からだか宙に舞う体験、
山頂からの美しい風景への感
動、自分の責任区間を走り終
えた満足感などさまざまな表
情を受け取る事ができ、来年
にむけて更に頑張ろうと部員
一同張り切っています。

また、体育部の重点活動と
して、ニュースポーツの普及

と定着を図ることがあり
ます。ルールや競技の進め
方などを説明し体験してもら
うだけの内容で例年進めてい
ましたが、競技自体の楽しさ
を伝えることができていまし
たので、本年度は体育部員が
選手となつて県民スポーツフェ
スティバルに参加し、町内で
普及しようとしている種目に
参加しました。一勝もできま
せんでしたが、楽しさを伝え
ることのできる経験を充分し
てきました。

折りかえし地点の 50周年、次は100周年！

編集部長 三島 真理子

平成18年度4月号より、公
民館報まつかわは広報まつか
わとの合冊になりました。1
年が経過し、読者の皆様にお
かれましても見慣れていただ
けた頃かと存じます。

昭和31年に松川町とともに
誕生した公民館報。昨年は町制
施行50年を迎えた節目の年
でありました。このようなとき
に部長を拝命したことは、大
変光栄なことでした。私達住
民ひとりひとりが自

分らしく、お互いを尊重して
生きられる：そんな住みよい
町としてこれからも発展して
いくことを願いながら、今年
度も館報の製作に取り組んで
参りました。

6月には、「平成18年度公民
館報関係者研修会」が松川町
で開催され、全県から関係者
が集いました。活発な意見交
換の中でより親しまれる公民
館報を目指しての学習機会を
得ることが出来ました。また
昼食には、館報6月号でも取
り上げた町の名物「ごぼとん
井」がPRされました。

9月30日・10月1日の両日
には、町制施行50周年記念事
業が開催されました。例年開
催の音楽祭、駅伝大会も「50
周年記念」を冠にしてより盛
大に行われ、編集部も運営協
力の傍ら取材し参加者の皆さ
んと共に楽しみました。

2月には第44回公民館研究
集会が開催され、子ども達と地
域の将来の明るい展望を願い、
活発な討論が行われました。
さて今年度は史上3冊目の
公民館報の縮刷版が発行予定
です。温故知新。今後もあり
一層、我等が町を「見て・聞
いて・語る」公民館報であり
ますように。

生田

安心で心豊かに暮らせるふたつ

主事 高坂竜夫

冒頭は、生田地区ホームページのタイトルです。18年度はこの思いを掲げ、事業を進めてきました。

7月の公民館研究集会は40名が集い、「ひさかた風土舎」の長谷部三弘さんの話の中で聞いた「地域に眠っている素材を活かせれば、誇りや、生きる楽しさを見いだせる。」との言葉から活動の持続を支える公民館活動の大切さを学びました。

ホームページは自然や伝承、産業など、生田情報の発信により、活力を付けたいと取り組んでいます。

運動会や芸能祭は生田にこんな人がいたのか、と思う



会場を埋める生田の衆

くらいの人出と熱気に包まれました。世代を超えた催しが少なくなる中で、家族の絆をかいま見ると、心温まる思いと同時に、続けていくことの大切さを感じます。

地域づくりはお互いに顔がわかる身近な地域だからこそできることだと思えます。これからも、生田ならではの特色を活かした事業の継続を望みます。

終わりに、地道な活動に献身いただいた、役員の方々と、ご協力いただいた全ての皆様にお礼の言葉を述べさせていただきます。

大島

好天の下、成功をおさめた町民運動会

主事 松下正敏

今年度、大島地区協議会で『公民館運営研究会』と『町民運動会』を実施しました。特に『町民運動会』は新年度開始当初より会議を重ね今年度は町制施行50周年の記念すべき年でもあり、趣向を凝らし計画しました。また、昨年中止となつた分成功への思いも強く役員一同気合を入れて臨みました。当日は青空のもと、多くの町民の皆さんにご参加いただ

平成18年度 地区協議会総括

き開催することができました。今年度はプログラムの内容に若干の変更を加え、新しい種目として『ムカデリレー』を、メドレーリレーでは『大福さがし』と『三輪車レース』を取り入れました。初めての試みではありましたが皆さん楽しんでいただけたのもと感じております。

記念大会の締めくくりとして閉会式終了後『宝投げ』を行いました。最後まで大勢の方

に参加していただき運動会を盛り上げていただけました事大変嬉しく思います。

『町民運動会』は参加者を集めるのが大変であるとの声もありますが、町民が一堂に会し誰でも参加できる事業は『運動会』しかないと思います。大勢の皆様のご協力がなくてはできない事業ではあります。是非とも継続いただける配慮をお願いいたします。

最後になりましたが、警察、安協の皆様、それぞれの立場でご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

上片桐

地区公民館活動について

主事 上沼英彦

上片桐地区公民館の本年年度の活動で「夏季スポーツ大会」は子供を中心としたキックベースボールが雨で中止になりましたがその他の事業については今年も地区の多くの皆さんの参加、協力によって盛大に実施する事ができました。

特に秋に行った「地区文化祭」は新規事業でもある「上片桐演芸祭」と併催で開催され来場者も

前年の倍になりました。ふるさと農道沿いに花を植える「花いっぱい運動」は例年どおりきれいに咲き通る人の目を楽しませています。



宝投げに大喜び（大島）



玉入れに大興奮（上片桐）

「フェスタぎおん」は出し物、来場人数も増え上片桐の「夏」に定着しようです。

2年振りに行なわれた「町民運動会」は天候に恵まれて地区の皆さんも青空の下、一日中歓声がひびいていたグラウンドでした。

「歴史探訪も上地区を巡り、今年も多くの人が参加をされました。

「絵手紙講座」は今年もまた受講生が増え講座回数も多くなりました。

「冬季スポーツ大会」の綱引き大会は寒い中21チームの参加で70試合行ないました。

雨天の時の室内ゲームを考えた運動会にお年寄りが参加できる種目との声もありました。が次年度が本年度以上に一人でも多くの人が参加して楽しい1年であればと思います。

上大島文化芸能祭

— 地域とのつながりを大切に —

平成18年度上大島文化芸能祭が3月3・4・5日の3日間にわたり上大島公民館にて開催された。

展示の部には、大島保育園の園児のみなさんの絵をはじめ、クラブ・個人の方達の日頃の成果が多数出品された。



じょうずに書けとるなあ

会場に所狭しと並べられた作品は短歌、手芸、写真などから俳句、川柳、陶芸、ブリザードフラワーなど多種多様にわたり訪れた人達の目を楽しませた。

4日午後の演芸の部は1部と2部に分かれ、子供からお年寄りまで25グループの発表があった。



流れるようにゆるやかに

歌謡、ダンス、エアロビクスなどで子供たちのかわいさや日頃の練習の成果を勢いづいて発表しようとする一生懸命な姿がステージ狭しと動きまわった。
詩吟では吟じている間に花を生け書を書くという目でも



ハイッ！ワンツー！ワンツー！

楽しめるものとなり、腹話術では人形と使い手の人間とのコミュニケーションの良さが深く感じられるものだった。
「さても南京玉簾♪」で知られる南京玉簾の芸。子供の頃見た事があると覚えているがこの頃は目にする事も無く懐かしい思いで観た人も多かったのではないだろうか。



ポンポンかわいいでしょ

他にも公民館男女部員による発表があり、訪れた皆さんは公民館女性メンバーにより振る舞われた具だくさんの豚汁を食べたりしながら楽しい時間を過ごした。

今年度初めての試みとして公民館部員の写真付き紹介表を作成し見やすく貼り出した。



ぼくもガンバっとるに

この事ひとつをとっても地域のつながりを大切にしようという思いが強く感じられたのではないだろうか。
期間中に訪れた多くの人が笑顔、笑顔で観賞されたことで事業に携わった人達の苦労も報われたことと思う。



この人知っとるよ

問題
考える
みんな
で
権考
人
を
仲良
く

なかよしひょう語

松川北小

友だちと いつも遊んで

楽しいな

林 那菜

マラソンに

いっしょに走ってくれて

ありがとう

片桐 明理

お友だち あいさつするよ

かえそうネ!!

中平美沙世

友だちと いっしょに遊べば

仲良しだ

湯沢花菜子

休み時間 友だちと遊び

楽しいね

梶間 礼歩

女の子 おもしろいこと

やるんだね

伊藤さゆり

友だちは せかいにひとつの

たからもの

伊藤 廉

友だちと けんかをしても

なかなおり

坂口 遥香

友だちと なかよく遊ぶと

楽しいな

宮澤 数馬

休み時間

いっしょにブランコ

たのしいな

矢澤 誼喜

友だちと いっぱい遊んで

おもしろい

岡部 紘也

友だちは いつもにこにこ

わらってる

大澤 優歌

お友だち みんななかよし

楽しいな

大沢 優真

友だちと いつもドッジ

楽しいな

宮澤 雅哉

友だちと いっしょに遊ぶ

楽しいな

大久保彩音

みんなだね 遊べば楽しい

ブランコだ

増田 莉奈

なか間はすれ

ぜったいつくっちゃ

いけないよ

大澤 虹歩

友だちと なかよくしよう

これからも

宮澤 広菜

友だちと いつもいっしょに

あそぶんだ

原 千草

友だちは そうじてくれ

うれしいな

宮沢 理沙

今日中に 友だち一人

作るんだ

松尾 悠人

友だちと 遊んでいると

おもしろい

日高 愛実

男はね ちゃんばらするよ

なかよくね

清水 大地

友だちが いっぱいいると

楽しいな

大澤 友美

友だちと 協力しあって

大そうじ

南林いずみ

松川町の文化財

(337) 埋蔵文化財 (235)

松川町の中世城館跡

大島城(1) — 信玄好きの信州人 —

教育委員会 酒井幸則

今年の大河ドラマ「風林火山」のおかげで、世はまさに信玄ブームの再来です。当時、武田信玄に侵略・占領された信州においても、各地の博物館では今年1年、信玄の特別展が開催あるいは予定されています。信濃にとつては憎き侵略者信玄のはずなのですが、なぜか信州人は信玄が大好きです。信玄筆という文書の偽物が最も多いのも信州といわれます。明治の頃、甲州から偽物を盛んに売りに来、地域の財産家や古いお宅では喜んでこれを買って求め、自分の家のステータスとしたともいわれます。信州人の信玄好きはなんとも不思議なものです。大河ドラマでも信玄は何回も放映されていますが、信長や秀吉同様、必ず当るといわれます。何か信玄には特別な魅力があるのでしょうか。信玄がかかわった地



天竜川に突出した大地上の大島城

ま つ か わ

春の陽ざしをうけて
運動しよう!!

上新井地区

卓球大会

2月18日(日)に上新井地区
公民館主催の男女別自治会対
抗卓球大会が町民体育館にて
開催された。

結果は次のとおり。

男子

優勝 新井南部

準優勝 本町

3位 松川

女子

優勝 新井北部A

準優勝 新井北部B

3位 松川

自治会対抗

卓球大会

2月25日(日)に実行委員会
主催の松川町自治会対抗卓球
大会が町民体育館にて開催さ
れた。

結果は次のとおり。

優勝 大栢

準優勝 名子中部

3位 下垣外西部

諏訪形

伊南柔道大会

3月4日(日)に伊南地区
の中学生・小学生が参加した
柔道大会が行われた。

結果は次のとおり。(松川関
係分)

団体・中学生の部

優勝 松川中学校

団体・小学校高学年の部

準優勝 松川柔道クラブ

中学生男子の部

優勝 大場 健太

準優勝 巻井 勇磨

中学生女子の部

準優勝 片桐 舞

小学生5・6年生男子の部

準優勝 岩崎 佑樹

小学生5・6年生女子の部

3位 巻井 亜友

小学生1・2年生男子の部

準優勝 松村柀之介

小学生未満の部

3位 赤須 帆華

第15回松川町混合
ダブルスバドミントン大会

3月11日(日)に町民体育館
にて松川町混合ダブルスバド
ミントン大会が開催されまし
た。43チーム(総勢86人)に
よる熱戦が展開され、予選各
リーグの同順位同士による決
勝トーナメントを行い、決勝
トーナメントの各ブロックで
それぞれ、優勝、準優勝、3
位を決めた。

結果は次のとおり。

Aブロック

優勝 佐々木章吾

尾曾 和美

(松川B・C)

準優勝 林 元彦

中山真理子

(松川B・C)

第3位

ズール

岩本 銘美

(I・B・C)

松下 侑司

北沢 真希

Bブロック

優勝 桑沢 俊孝

松澤 晶子

(松川JrB・C)

準優勝 森 日出登

丸山ひとみ

第3位

(名子BDクラブ)
北林 宏太
林 加菜子

(松川JrB・C)

シユ克蘭

中川 貞子

(I・B・C)

Cブロック

優勝

沢田 義光

水田 友美

(名子BDクラブ)

準優勝

林 宗広

北林 利美

(城北B・C)

第3位

斉藤 和勇

小原 鈴子

(桑園B・C)

Dブロック

優勝

吉川 貴尋

三宅 純子

(古町北部)

準優勝

川瀬 広美

山口真由美

第3位

(名子BDクラブ)

北沢 祐樹

松下 恵美

(名子BDクラブ)

佐々木光男

丸山 栄子

(名子BDクラブ)

公民館部員募集

中央公民館では現在、松
川町にお住まいか、または
勤務されている社会人を対
象に、一緒に活動してくれ
る部員を募集しています。

公民館部員は社会部・体
育部・編集部の3部に分か
れており、自分にあつた活
動を行うことができます。部
員として委嘱を受けると、
各部それぞれの年間計画に
基づいて活動を行います。ま
た、各部毎に積極的に交流
活動を行っていて、活動の
中で得られる「繋(つな)
がり」はあなたの大切な財
産になることでしょう。

公民館活動を通じた地域
の交流の中で、この時代の
中であなたの「なにか」を
つかんでみませんか。
なお、活動に対し若干の
手当は支給されます。
これまでの経験は問いま
せん。公民館では意欲のあ
る「あなた」のご応募をお
待ちしております。

お問合せは松川町中央公
民館(TEL36-2622、
FAX36-6620)まで。
お気軽にお問合せください。



別世界でのやりがい

中荒町 新井直彦 (26)

4月1日付の異動で、今年度から教育委員会社会教育係、公民館主事として着任され、町の中央公民館に勤務されています。公民館というところは初めて関わる世界で、



これまでとは全くの別世界。どんなことをするのかイメージもわかなかったそうです。昨年度まで役場庁内で、住民税務課国保医療係として勤めておられ、住民税務課窓口のお馴染みの顔として見覚えがある町民の方も多いのではないのでしょうか。趣味はバドミントン。これまでも町のバドミントン大会などに参加されています。今年度から松川町消防団の旗手という役目も担うことに

なつたとのこと。日曜日に行事の多い公民館と消防団の活動をどのようにこなすのか、初めてのことがばかりが続くこの1年に不安も大きいようです。

しかし、公民館というところは、これまで以上に人とのつながりが多くなり、やりがいを感じていると、力強くその気持ちを語ってくれました。今は公民館の活動がどのようなものなのか、勉強していくだけで精いっぱい。たくさん覚えることもあるががんばりたいと、不安の中にも輝きのある表情で語る姿が印象的でした。

「男女共同参画社会づくりのための意識改革と、地域や職場等の活動に共同して参画しているリーダー養成」を目的に18年度も4講座を実施し、のべ120名の参加をいただきました。

「男女共

すぽっと

男と女いきいき講座を終えて

社会教育指導員

宮下千波

減少傾向、マンネリ化のご指摘もあります。反面「自分自身が変わらなければ」と前向きな意識改革の声も聞かれますので、次年度はさらにバージョンアップして実施したいと思っております。

同参画社会の実現に向けて「男と女はどちがちがうの?」「ワークシヨップで考える男女共同参画」「素敵なパートナー男(ひと)と女(ひと)」のテーマで講演やワークシヨップを実施しました。「男

る家庭であり地域である」ことを学びました。特に性差医療については新しい分野であり、専門用語に戸惑いも多かったようですが「体の違いを理解した上

で、お互いに尊重しあい男女を問わず働きやすく暮らしやすい社会でありたい」等の感想が寄せられました。この講座も3年目となりましたが、講座によつては参加者の

こぶしの詩

一年間を

ふりかえって

東小2年

市岡成親

ぼくががんばったことは、体育です。とくに水えいをがんばりました。50メートルを目ひょうにして、水えいおさめ会で、およげました。うれしかったです。3年生になったら、100メートルおよぎたいです。

一年間をふりかえって

東小2年 松下光帆

わたしが一年間がんばったのことは、はみがきです。一年生のころは、あまりはみがきをしてなかったのですが、むしばになりました。むしばにならないように、と思いました。

楽しかったことは、そうじです。そうじすると、学校の中がきれいになって、気持ちがいいです。

3年生になってがんばりたいことは、かん字です。むずかしいかん字がたくさん出てくると思うので、れんしゅうしたいです。

俳句

春の雨 木下杉代

貯水槽の水面を染めて春夕焼

とび石の色のさまさま春の雨

ひそやかに葉先を巻きて貝母咲く

れんぎょうの咲けば狭庭を明るくす

合格を伝へ来る子の声弾む

短歌

川上貞子

畳みいる洗濯物へ仄かにも檀香梅の香の匂いくる

ピンと張りおむつ干すのも今日までと悴む指に息吹きかける

寝つくまで絵本読みやり添い寝せし孫とのひと月つかの間に過ぐ

嫁入りの時に持ち来し木の盥盆ははしゃぎて水遊びする

散り際に大輪の花火また開くが半月冴ゆる雲の間に見ゆ

声

新街道で地域おこし

桑園南部 原

実

この4月に清流苑から南へ高森境までの約2.5kmの道が開通します。地元として、町内はもちろん、多くの方に知って頂きたくイベントを開催する計画を進めています。その中の一つとしてマラソン大会を考えています。現在のところ各種団体の有志によるメン

バーで思案中であります。7月頃の開催で計画中です。今年のところは手作りの大会で大きなことは出来ませんが、メンバーの思いは、将来は県内外からも参加出来る大会を目指しております。また、この道沿いには、桜山神社、弥勒寺など史跡があ

ります。この史跡を健康ウォーキングを兼ねて、ゆっくり歩いてみようという計画しております。

この道筋に面しております桑園、増野地区は、果樹園地帯であり、南アルプスを望むことが出来、大変景観にも恵まれております。この田舎の街道を後世にも残せる様、地域住民が一丸となって取り組めたらと思っております。

牧之原市マラソン大会に参加して

大沢南部 白田稔宏

2月11日に静岡県牧之原市でマラソン大会がありました。前日に松川を出発し、下見と練習を兼ねコースを走ってみました。しかし大会当日は風が強く、いいコンディションとはいえない天候でした。

この大会は今年で最後なのでいい結果を出す事ができてよかったです。この走りを含めた後、レースにいかして頑張りたいと思います。



町の古民具 ③ 鉄瓶

囲炉裏などで湯を沸かすのに使った。溶け出した鉄分を補給できるなど利点があるため、現在も使われている。



今回は第50回の記念大会で例年とは違い大通りからのスタートとなり、距離も少し延びました。スタートは少し出遅れましたが、その後すぐにトップに立つことができ、そのままゴールしました。ゴールしてみると中学の部だけでなく総合でも優勝という結果でした。



50回記念、一斉にスタート！

来年は3年生ということ

草

今年飯田下伊那の桜がすごい。以前から桜守りガイドの活動などで全国的にその名を知らしめていたが、今年は「全国桜シンポジウムin飯田」が開催されることもあってか、名桜と呼ばれるところは他府県ナンバーの車で数珠つなぎになっている。私もいくつか回って見たが、良くこんなところまでと思うような場所に神戸、品川、相模などなど、遠方では札幌ナンバーもありその情熱には頭が下がる。松川にも素晴らしい桜がたくさんあるが、徐々に樹勢が衰えている樹が多く心配だ。以前「町の樹」でもとり上げた円満坊の桜は、寿命なのか病気なのか2、3年前から花が激減した。最も著しいのは伊那大島駅の桜。少年時代、桜のドームの下を通学した記憶はまだ新しい。今、黒い幹から細い枝を出し、わずかに花を咲かせている姿を見るたびに胸が痛む。

宮下 徹

公民館報
「まっかわ」
第 522 号
平成19年4月15日

発行所 松川町公民館
責任者 松村直彦
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)